

# 第1回 がんばっています!!

市内の団体や個人を紹介します。

朗読ボランティア「つばきの会」(後川安希子会長、会員16名)は、「声の広報」として市広報誌を読み上げ、録音したものを視覚障がいのある方に届ける活動を25年にわたり、取り組んでいます。

また、音声は市の公式ホームページにも提供しています。



## 朗読ボランティア「つばきの会」

平成6年に市福祉課から声掛けがあり、活動を始めました。市広報を聞いた視覚障がいの利用者さんは、「やっと市民になったような気がする」と喜んでくれました。

現在は、市の広報を月2回、他に社会福祉協議会の福祉だよりや市議会だよりを音声の

CDにして利用者11人に送付しています。

今後は字が読みにくくなった高齢者の皆さんをはじめ、たくさんの方々に聞いてもらいたいと思っています。また、若い人にも活動に参加してほしいと願っています。

(後川会長談)



編集委員

- 小委員長 鵜浦昌也
- 副委員長 蒲生
- 委員 木村聡
- 委員 松田修一
- 委員 大和田加代子
- 委員 伊藤勇一
- 委員 伊勢純
- 委員 佐々木義

## 編集委員

### 議会報告会「議会と語る会」を開催

陸前高田市議会は、11月12日に岩手県立高田高校の生徒を対象として「戻ってきたまち、住み続けたいまちにするには何が必要か」をテーマに議会と語る会を開催しました。

また、11月22日(金)午後1時30分から市役所3号棟2階の議場で一般社団法人陸前高田市建設業協会の方々を対象に「これまでの復興の歩みと復興期間終了後における課題」をテーマとして議会と語る会を開催します。

なお、議会と語る会の内容は次号に掲載します。

## あとがき

りくぜんたかた市議会だよりも、今号で110回目の発行となりました。9月の市議会議員選挙を経て、編集委員である広報小委員会のメンバーも新しくなつて初めての広報誌です。

表紙は、昭和63年に県内2例目として矢作町地内の国道343号沿いに完成したループ橋周辺を上空から撮影しました。野山が紅葉に染まりつつある秋の佇まいですが、真冬ともなると、周辺の道路が凍結するなど、交通の難所としても知られています。

そこで、近年は新笹ノ田トンネルの建設を求める声が市内外で高まっています。心癒される美しい風景を眺めながら、本市と内陸部を結ぶ新たなトンネル整備の必要性を強く感じたところです。

最後になりましたが、今後とも誰かが読みやすい議会だよりづくりに努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

(鵜浦昌也)